学校だより
国見っ子

6月5日号
国東市立国見小学校
R7.6.5 発行
文責：校長田中博恵

子どもたちの瞳がかがやく

～「学びの教室」開講式～

5月21日に開講式を行い「学びの教室」がいよいよスタートしました。「5つのお約束」と「月一回のお楽しみの時間」のお話がありました。

参加児童11名のうち、9名が昨年度参加の児童ということからも、学びの教室の充実ぶりがうかがわれます。親切丁寧に教えてくださっているうえに、今年度は、子どもたちのお楽しみの時間を設けてくださいます。様々な地域の方々に、子どもたちを育てていただいて感謝しています。

年度途中からの参加も受け付けています。希望される方は、担任か教頭までお知らせください。

～学びの教室　5つの約束～

1 学びの教室は勉強するところです。
2 机の上には勉強に必要な道具を置きましょう。
3 アドバイザーの先生の教えを素直に聞きましょう。
4 教室から出るときは、アドバイザーの先生に届けましょう。
5 友達の迷惑にならないことはしないようにしましょう。

【勝手な話、ふざける、せき離れ、大きな声】

「学びの教室」開講式の様子
＝5月21日　国見小学校多目的室＝

～学校公開～

5月28日に学校公開がありました。学校運営協議会委員の方・保護者の方など30名近いご参加をいただきました。

～ご意見・ご感想～
（一部　ご紹介）

○聞く姿勢が良い。
○話し合いのある授業
○学級の雰囲気が良い
○理科準備が素晴らしい
●集中できていない子がいる。先生注意は？
●理解していない子がいる
●話を聞けていない

お寄せいただいたご意見ご感想は、職員全員で確認し今後に活かしていきます。

学校公開は、地域の皆さんに学校の教育活動や子どもたちの様子を知っていただく大切な機会です。ご都合が合えば、是非お越しください。

学校公開の様子　左１年教室　中央３年教室　右２年教室　＝5月28日

進んでできるってステキ♡

＊気づき・考え・行動できること＊

□集会前の体育館に行くと、児童会の役員（6年生）が、20脚程の椅子並べとマイク準備などをしてくれていました。毎回こうしてくれる役員さんがいて、定時に集会がスタートできるありがたさを改めて感じました。ありがとう。

□一年生が朝顔とミニトマトの苗に水やりをしていました。「○○ちゃん来て」「トマトにもやろう」誘い合ってみんなでする。微笑ましい会話が進んでいました。大切にしたい関わりでした。

□体育館の隅に、死んだ蜂を見つけて教えてくれた子どもが、自分ではどうしようもなかった時、素通りするのではなく、近くの大人に声をかけることが迷わずできる子どもに感心しました。きっと、この子どもは、落ちているゴミにも気がつき進んで拾うような「気づき・考え・行動する」ことができるのだと思います。

まいた種は、必ず芽が出る

「54」は、何の数字？認めほめる材料に

集会でお話をした日の昼休み後の全校靴箱
＝5月28日国見小学校児童玄関：靴箱＝

5月最後の児童集会では、凡事徹底（当たり前のことを当たり前にできる）の難しさと出来ている素晴らしさを紹介しました。

◇その日の児童玄関では54足が、きれいに揃っていました。「靴は揃えておくことが当たり前だと」知っている。でも何時でも何処でもそうする事は、難しいけど意識しようと伝えました。

◇昼休み後に、靴箱をちょっと楽しみに、見に行きました。なんと、ほとんどの靴が揃っていました。

◇子どもの気持ち（意識）だけでなく、きっと、学級で、発達段階に応じた話を担任がしてくれたのでしょう。

◇また、揃った靴箱の写真を共有フォルダに入れている事を職員に伝えると「褒めるきっかけにしよう」「子どもと見に行こうと思っていたんです」などの声。

◇今回、私のまいた種に、職員が水をやってくれたように、望む姿を思い描いて誰かが種をまき、そこに肥しや水をやり、全職員で心・目・声をかけ子どもたちの成長を期待して育てていく。そんな教育が展開されつつあることを嬉しく思いました。

「はきものをそろえる」

はきものをそろえる

はきものをそろえると
心もそろう
心がそろうと
はきものがそろう
ぬぐときに
そろえておくと
はくときに
心がみだれない
だれかが
みだしておいたら
だまってそろえて
おいてあげよう
そうすればきっと
世の中の人の心も
そろうでしょう

この詩は、長野市の円福寺の住職だった藤本幸邦（ふじもとこうほう）さんがつくった「はきものをそろえる」という詩です。

いつからはきものをそろえるという文化が日本に根付いたのかわかりませんが、永平寺の開祖である道元禅師は日々の修行の中に「はきものをそろえる」という行為を組み込んでいたそうです。

はきものをそろえることは、「自分自身をみつめる」「自分の行いを振り返る」ということにつながると考えていたのでしょう。つまり、「はきものが散らかっていると心が乱れている。そろっていれば心が落ち着いている」ということです。

本校でも、トイレではスリッパに履き替えるようにしています。子どもの帰った戸締りの時に、そろっていないスリッパがあればきれいに整えています。通りかかった職員も、きっと揃えてくれていると思います。

スリッパをそろえるというほんのちょっとしたことですが、いつも、落ち着いた生活を送るには、このようなことをきちんと行うことが大切だと思います。